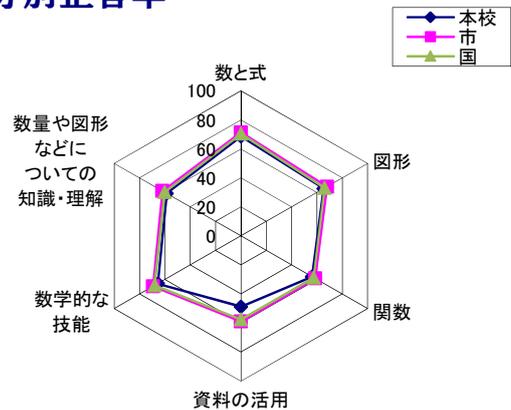


宇都宮市立田原中学校第3学年【数学】分類・区別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

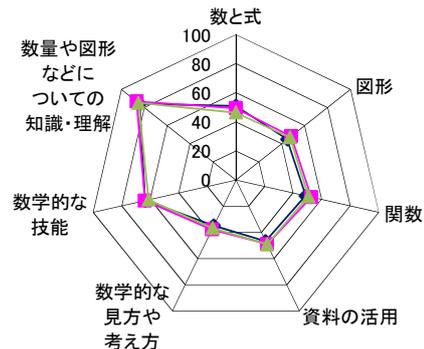
【数学A】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域	数と式	68.6	71.4	70.4
	図形	65.3	67.9	66.0
	関数	56.1	58.6	57.4
	資料の活用	48.7	58.9	57.6
観点	数学への関心・意欲・態度			
	数学的な見方や考え方			
	数学的な技能	65.6	69.3	68.2
	数量や図形などについての知識・理解	58.7	61.9	60.2



【数学B】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域	数と式	50.9	49.4	46.3
	図形	44.8	48.3	47.1
	関数	48.8	52.7	50.8
	資料の活用	46.7	49.0	49.1
観点	数学への関心・意欲・態度			
	数学的な見方や考え方	34.9	37.8	36.8
	数学的な技能	63.6	63.7	61.2
	数量や図形などについての知識・理解	84.0	86.7	85.1



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式	<p>○文字式の計算では正答率が83.5%であり全国の正答率を5ポイント上回っている。また、問題場面における考察の対象を明確にとらえることのできる生徒は86.6%で全国平均を6.2ポイント上回っている。</p> <p>○数学Bにおいて全国の正答率より4.6ポイント上回っている。</p> <p>●分数の計算では正答率が80.4%であるが全国平均正答率より6.7%低い。</p>	<p>・プリントやワークを利用して復習する機会を意図的に作ってきたことが成果として表れている。</p> <p>・分数の計算を苦手にするなど、小学校でのつまずきが解消されていない状況がみられる。授業の中で、分数の計算練習の時間を作っていききたい。</p>
図形	<p>○n角形の内角の求め方を理解している生徒は、77.3%で全国の平均を7.9ポイント上回っている。</p> <p>○角度を求める問題や作図の問題では、全国の正答率を2~4ポイント上回っている。</p> <p>●扇形の弧の長さを求める問題では、全国の正答率を3.9ポイント下回っている。</p>	<p>・基礎・基本の内容を活用して問題解決が図れるように、多様な見方考え方ができる課題を取り入れていきたい。</p> <p>・円周と円の面積の求め方でつまづいている生徒がみられるため、授業の中で丁寧に復習することで、扇形の理解につなげていきたい。</p>
関数	<p>○反比例の表から比例定数を求める問題や二元一次方程式が表すグラフを選ぶ問題において、全国の正答率を2ポイント程度上回っている。</p> <p>●比例のグラフから式を求める問題で、全国の正答率を8.6ポイント下回っている。</p>	<p>式と表とグラフを正しく理解できていない傾向がみられる。この3つを関連付けて丁寧に指導し、確実に定着させたい。</p> <p>・身近な事象を取り上げ、関数に対する興味関心を高めていきたい。</p>
資料の活用	<p>○資料と与えられた情報から必要な情報を適切に読み取る問題では、全国の正答率と同等の値が得られた。</p> <p>●資料の傾向を的確に捉え数学的な表現を用いて説明する問題では、全国の正答率を8.3ポイント下回っている。無回答の生徒多く課題がみられた。</p>	<p>・身近な事象を取り上げることで、興味関心を高めていきたい。</p> <p>・相対度数の意味や度数分布多角形の意味を丁寧に指導し、基礎基本の定着を図りたい。</p> <p>・話し合い学習を取り入れることで、自分の考えを数学的な表現を使い説明する力を伸ばしていきたい。</p>